

## 式辞

山々や沿道では、紫、ピンク、黄色、白といった美しい花が咲き、木々も鮮やかな緑の葉をつけ始めました。ここ双葉ヶ丘でもウグイスの声が響き、学びの園「八田中学校」で新たな生活を始める新入生を迎えてくれています。

本日は、ご来賓の皆様にご臨席を賜り、ここに令和五年度の入學式を挙行できますことを嬉しく思いますと共に、高いところからではありますが、厚くお礼申しあげます。

200名の新入生のみなさん、八田中学校への入学、おめでとう！ 先日までは最高学年の6年生として、学習はもちろんのこと、登下校・行事・委員会活動などすべての場面で全校をリードしてきました。その経験を土台として、今度は中学校で上級生と協力して八田中の歴史を創り、自分の力を最大限伸ばしていきましょう。

八田中はこれまでの卒業生、そして在校生の努力で素晴らしい学校になっています。「生徒同士が話し合って、生徒の手で進めていく。」このことが現在の八田中の最大の強みです。令和五年度の生徒会スローガンは「晴天くひとりひとりが八田ピースく」です。一人一人が夢や希望を持って、明るく輝くことを願ったスローガンです。みなさんは今日から八田中生です。一日も早く中学校生活に慣れて学習や部活動などにおいて充実した毎日を送れるようになって

てください。

さて、新入生のみなさん、幼小中一貫教育を進めている八田ブロックでは、幼稚園から中学校までの「N年間で「未来を切り拓く人」の土台となる力を付けることを目指しています。そのために先生たちは学習と行事において、次のことを頑張ろうと話しました。学習では、「基礎基本を身につける」ということです。これは単に「基本的な知識や技術を身に付ける」という意味ではありません。物事を身に付ける時の速度や量は人それぞれです。自分にあった内容を自分なりの方法で進めていくことが大切です。日々の学習を通して、どうしたら、基礎基本が身につくのか、自分なりの学習方法をつかんでいってください。昨日の自分より一歩前進です。

次に最大の行事である「演劇」についてです。演劇は八田中の伝統と言われています。もちろんプロの劇団ではありません。演劇の活動を通して頑張つてほしいことは、大人になり社会へ出て生活する時に必ず必要となる土台を作ることです。それは、先生に頼らずに自分たちで考え抜き、協力して新しいものを創り上げる活動を通して行います。

ここで上手に中学校生活を送るためのヒントを話します。昨年度も話しましたので、2年生、3年生の皆さんは今一度振り返ってください。

「失敗」や「うまくできない」ということについ

てです。

人は誰でも失敗をします。君たちも失敗をしてきたでしょうし、校長先生もそうでした。失敗すると恥ずかしい気持ちになってしまいますね。また、多くの人ができるのに自分はどううまくできない。できない自分を見せるのは本当に勇気がいります。でも、「失敗」や「うまくできない」という不安に負け、挑戦しないタイプの人になるのはよくありません。「失敗」や「うまくできない」というのは物事の結果です。未来を切り拓く人になろうとしている君たちにとって大切なのは、結果ではなく、それに向かっただけのように取り組むかということです。今、世界では、コロナウイルスに対抗するワクチンや薬の開発が研究者によって引き続き進められています。研究は日々失敗の連続です。研究の世界では、こういう言葉が知られています。失敗は成功のもと。失敗はダメなのではありません。「その方法ではうまくいかないよ。」と教えてくれているのです。

もう一つ大切なことは、「失敗したり、うまくできなくても大丈夫だよ!」と言ってくれる仲間の中で生活しているという安心感です。人は、失敗をしていないとき、つまりうまくいっているときは楽しく、周囲に困っている人がいることに目が向きにくいものです。困っている人、うまくいっていない人に目を向けて生活ができる人になってください。

最後になりましたが保護者の皆様一言お祝いを申しあげます。

「本日はお子様のご入学おめでとうございませす。心からお慶び申しあげます。」

今日から三年間、私たち教職員は、大切なお子様の中学校教育に責任をもってあたらせて頂きます。

折しも今月より「こども基本法」がスタートし、すべての子どもが個人として尊重され、子どもの権利が守られることになりました。思春期の子どもへの対応は保護者として踏ん張りどころであり、一方で子どもにとっては避けて通れない成長のチャンスです。学校とご家庭がしっかりと連携して、共通の理解の元でお子さまの教育に当たることができませすよう、よろしくお願い申しあげます。

また、地域の皆様方におかれましても、地域と共にある学校づくりとして、子どもたちの活動が地域の皆様と更に連動しますよう、どうぞよろしく願いいいたします。

新入生の皆さん一人一人が、これからの三年間の中学校生活で大きく成長していくことを期待して式辞と致します。

令和五年四月十二日

綾部市立八田中学校 校長 小林 孝伊